

令和3年7月

各 位

東京学芸大学 総務担当理事・副学長
中島裕昭

このたびは、本学の教員公募に応募を検討いただき、心よりお礼申し上げます。

応募にあたって提出いただく予定の書類の中で、「担当授業科目に関する研究業績等一覧」について、ご説明させていただきます。

通常の大学教員選考であれば、この種の書類は、提出をお願いするとしても採用が内定した段階で記載提出いただくのが一般的かと存じますが、当該書類の「記載例」の冒頭のところにも記しておりますように、本学は令和5年度からの新カリキュラムによる教員養成課程としての認定を受けようとしており、その認定申請の届け出は令和3年度末、つまり今年度末に予定されております。これは、教員養成課程において課程認定が重要なもので、カリキュラム完成年度までの教育実施体制が十分準備されていることが確認されて初めて認定されるという手続きになっているため、結果として、この課程認定を受けるため、令和5年度からのカリキュラムによる授業科目を担当される先生方の、担当授業に関わる業績が、そのカリキュラムが開始される1年以上前に確認される、ということになります。

そのため、日程的な都合もあって、令和5年度からの教員養成課程授業科目の担当が見込まれる方々には、関係する研究業績を事前に応募段階で提出いただき、人事選考と並行して業績の確認をさせていただくこととしております。そのため、この書類の提出をお願いする次第です。

先生方には、応募にあたってご負担をおかけしますが、本学が「有意の教育者」を養成し（本学学則第1条）、特に学校教員を養成する大学であるということについてご理解いただき、当該書類の記載・提出にご協力いただければ幸いです。